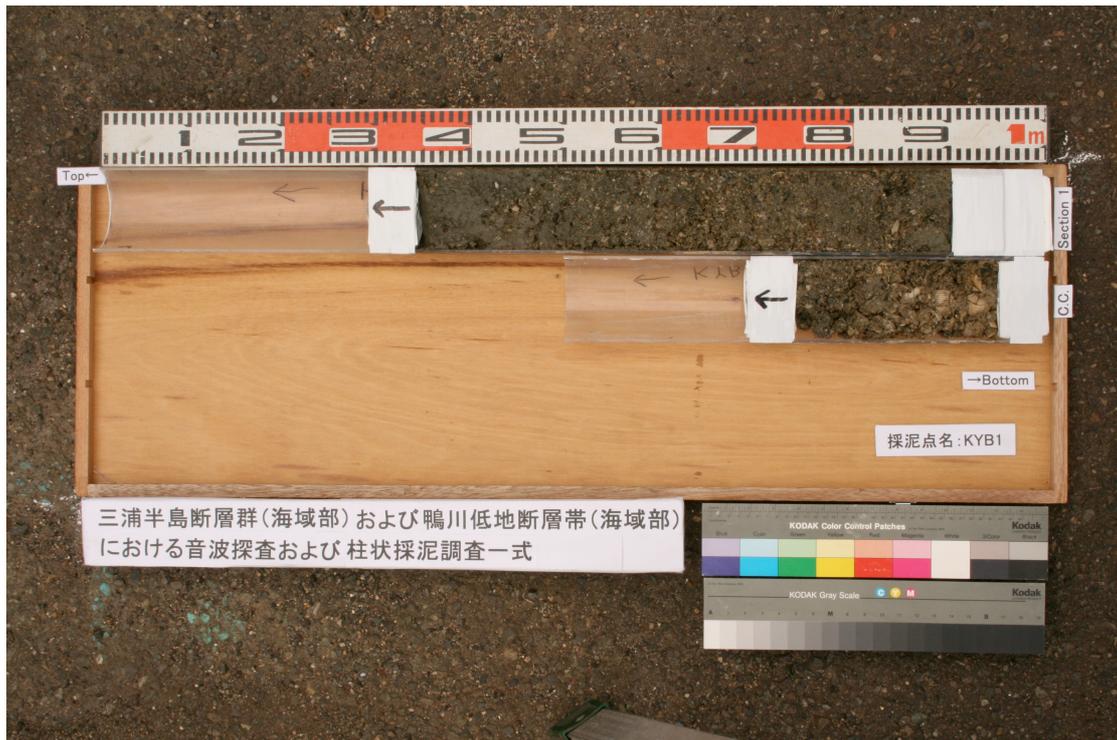


コア写真



KYB1



KYB2-2 sec. 3-sec. 4



KYB2-2 c. c. -sec. 2

## 地元説明資料

平成 26 年 5 月 13 日

## 平成 26 年度 沿岸海域における活断層調査計画について

### 三浦半島断層群（海域部）・鴨川低地断層帯（海域部）

独立行政法人 産業技術総合研究所  
活断層・火山研究部門

独立行政法人 産業技術総合研究所は、文部科学省からの要請により、三浦半島断層群（海域部）および鴨川低地断層帯（海域部）において海域活断層調査を実施いたします（別添資料 1）。

この調査では、同海域における活断層の分布を把握し、地震規模、発生時期の長期評価の高度化を図るための重要な基礎資料となります。

調査は、以下に示しました調査項目、調査予定時期、調査対象エリアにおいて実施する予定です。海上における安全には十分に配慮して調査を実施いたします。

つきましては、なにとぞ本調査の意義をご理解頂き、調査が円滑にできますようご協力を賜りたく、よろしくお願いいたします。

#### 調査項目

① 音波探査（別添資料 2）

調査船から音波探査装置（ケーブル）を約 50m 曳航し、測線に沿って 3~4 ノットで航行しながら調査を行います。

② 柱状採泥（別添資料 3）

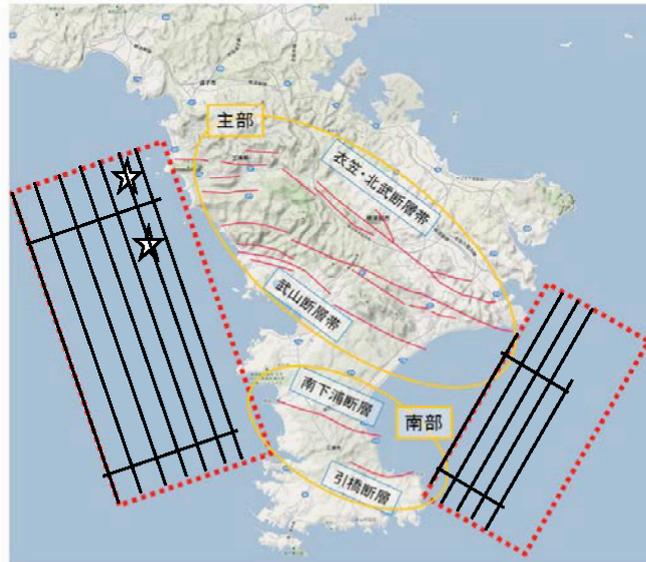
調査台船をアンカーで固定して、全長 8m 程度の柱状採泥器を船上から海底に向け投入し、海底の底質の採取を行います。試料採取後は接続されたワイヤーロープにて採泥器を回収します。

#### 調査予定時期

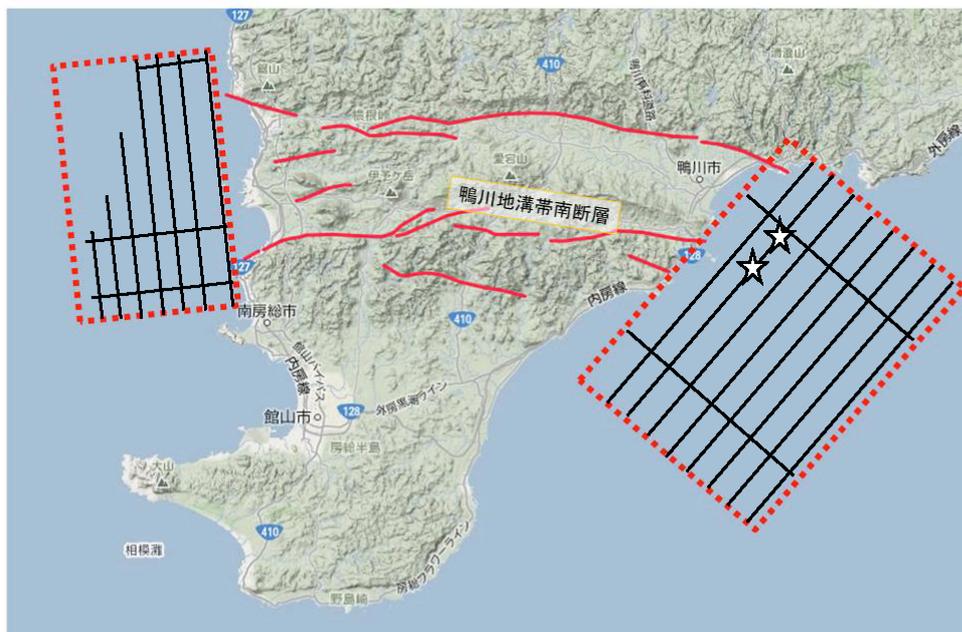
現時点においては、詳細は未定ですが、音波探査は平成 26 年 7 月中旬 ~9 月中旬のうち、4 週間程度、柱状採泥調査は平成 26 年 9 月下旬 ~10 月下旬のうち、2 週間程度を予定しております。今後、関係各機関との調整を行い、その状況を踏まえて、調査日程が決まり次第、連絡いたします。

## 調査対象エリア

以下に示す赤枠で囲ったエリア内において、黒線上の測線で音波探査を実施し、結果に基づいて星印の位置付近において柱状採泥を実施する予定です。



三浦半島断層群の位置と調査範囲

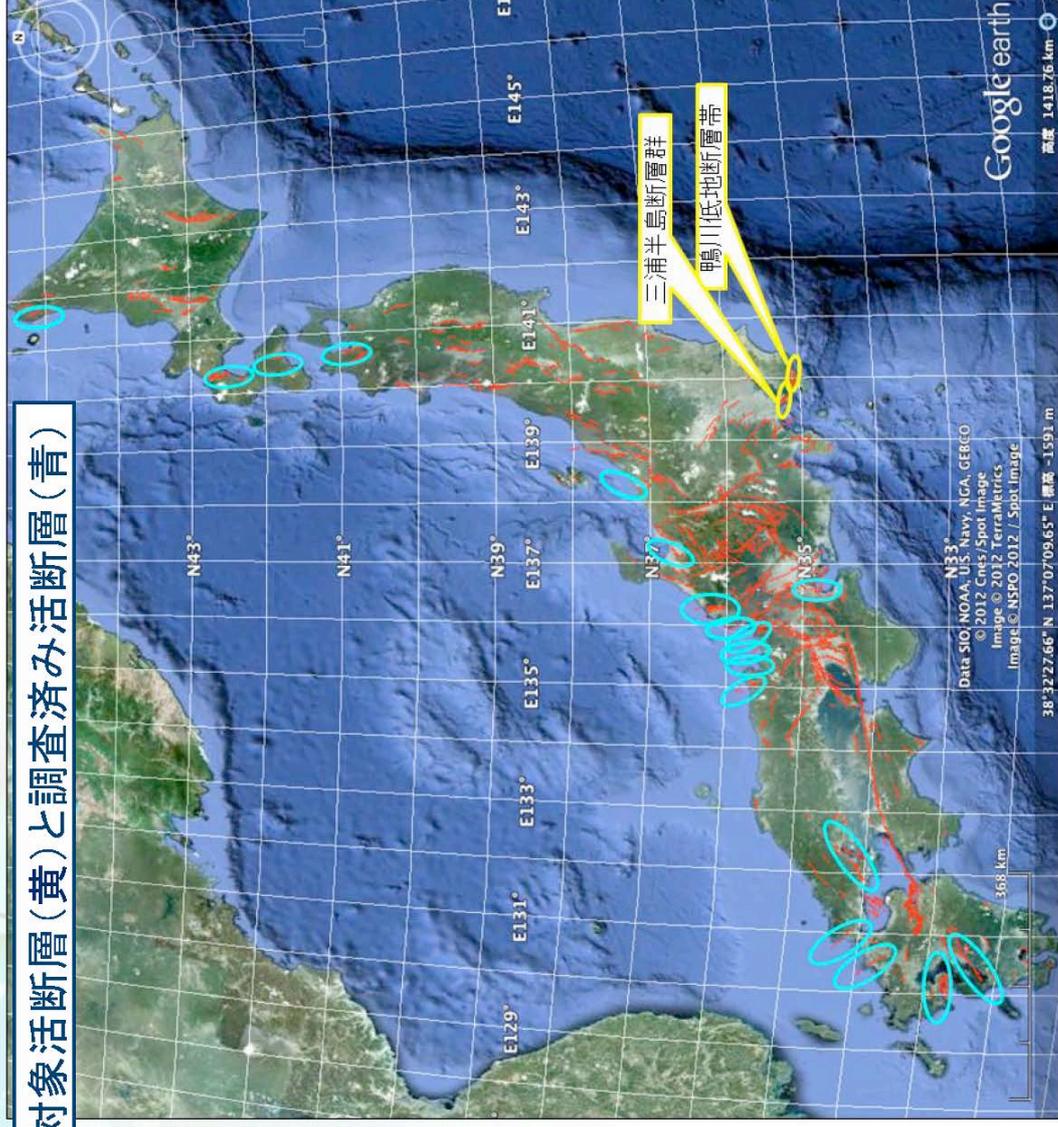


鴨川低地断層帯の位置と調査範囲

# 文部科学省 沿岸海域における活断層調査

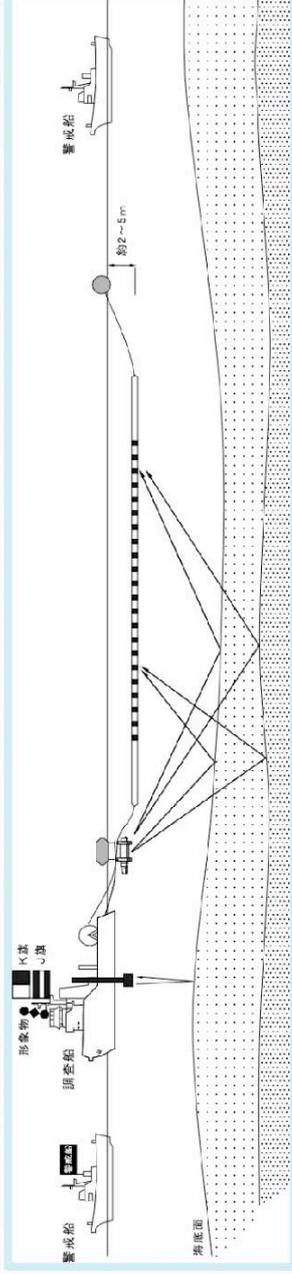
資料1

H26年度調査対象活断層(黄)と調査済み活断層(青)



# 音波探査(ブーマーマルチ)

資料2



ストリーマーケーブル

